

今日のキーワード 注目度を増す「ダボス会議」(グローバル)

「ダボス会議」とは、世界経済フォーラムがスイスの保養地ダボスで開く年次総会のことです。企業のトップのほか、政府や中央銀行、国際機関のトップ、研究者らが集まり、世界経済や政治などの多様なテーマについて議論します。日本からは、去年は安倍首相、今年は黒田日銀総裁が出席し、日本が推進する政策について、世界へ情報発信しています。

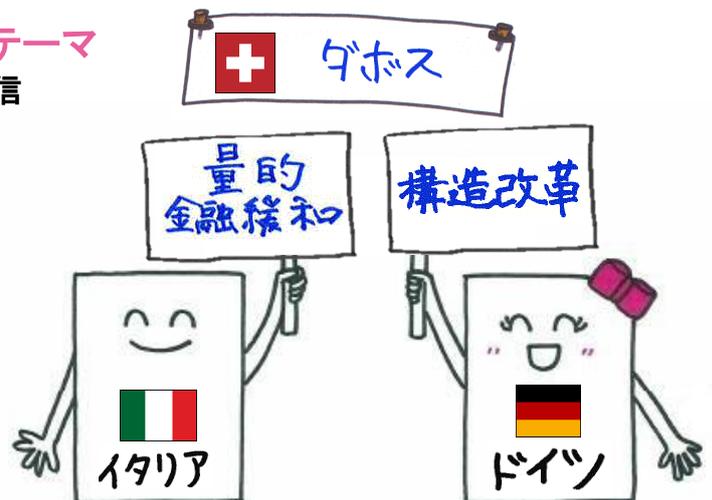
ポイント1 「ダボス会議」の魅力は、自由な意見交換と情報発信の場の提供

2015年の参加者はおよそ2,500人と過去最大

- 2015年の「ダボス会議」は1月21日から24日の4日間の日程で開催されました。世界の約140カ国から過去最高となるおよそ2,500人の政府、企業、国際機関・金融機関のトップらが集まりました。
- 「ダボス会議」の魅力は、世界の各方面のトップらが自由な意見交換を行うことと情報発信の場を提供していることにあります。例えば、思い切った政策転換を行った国のトップが情報発信し、世界のリーダーらの理解を得ることに使われる場合があります。また、世界の企業経営者らがグローバル戦略などを話し合う場としても活用されてきました。

ポイント2 「新たなる世界情勢」が今年のテーマ 中国、イタリア、ドイツの首脳が情報発信

- 今年は、「新たなる世界情勢」というテーマで、原油安、金融政策、国際テロ行為などについて議論されました。
- 中国の李首相は、「新常态」を目指して構造改革を加速させる中国の方針について講演し、経済成長率が鈍化しても実行する必要性を説明しました。また、イタリアのレンツィ首相とドイツのメルケル首相は、世界経済の成長に向け、それぞれ、量的金融緩和への期待、構造改革の必要性について言及し、異なる意見が示されました。



今後の展開 「ダボス会議」での自由な意見交換は世界経済の発展にも貢献

- 去年は安倍首相、今年は黒田日銀総裁が出席
去年は、安倍首相がアベノミクスや女性の活躍推進をテーマに講演し、各方面のリーダーらの理解を得たとされています。今年は、黒田日銀総裁が出席し、日銀が強力に推し進める量的質的金融緩和や構造改革について説明しました。今後も日本の政財界のトップの出席による情報発信が期待されます。

- 多彩な顔ぶれによる意見交換の成果を期待
今回の出席者は、日米欧の政治・金融のリーダーのみならず、ブラジル、インド、ロシア、イラクなどの新興国首脳クラスや、グローバル企業のトップなど多彩な顔ぶれです。世界のトップによるダボス会議での自由な意見交換が世界経済の発展に活かされることが期待されます。

ここもチェック! 2015年01月21日 IMFの世界経済見通し改定(2015年1月)
2015年01月06日 「2015年の政治イベント」(グローバル)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。